

◇編集後記◇

今年の4月から非常勤講師の仕事が週2日となり、登山と連盟機関誌づくりにかかなりの時間を費やせるようになりました。仕事は火曜日と木曜日、連盟理事会のある木曜日には、仕事場から玉造の事務所に直行出来て効率的です。機関誌の発行日は月曜日、前の週の締め切り日（基本的に木曜日が締め切り）から余裕をもって編集に取り組みしていくこともできます。また、登山に関しては金曜日から翌週の月曜日まで、余裕をもって長期の登山の計画が立てられます。

4月7日（月）は里山一斉調査で今年も泉南・畔の谷コースに参加しました。今回で4年連続、元泉南高校の田中先生の動植物の楽しい解説付きですっかりはまってしまいました。ただ今回はクスベニヒラタカスミカメの話で衝撃を受け、今後とも自然保護のあり方や取り組みを真剣に考えていかなければならないと痛感しました。このクスベニヒラタカスミカメ（7mmほど）は中国原産の外来種で、大きなクスノキの葉から汁液を吸い、次々と葉を枯らしていくそうです（写真左：右手に持っておられるのが枯れたクスノキの葉）。この始まりは2015年と言われ、この日のクスノキの落葉には、軒並み黄褐色の汚い色になったクスノキの葉が群がっていました。この被害は南大阪が一番激しく、枯れてしまわな心配な木もあり、しばらくはクスノキから目が離せないようです。（大西）



左手に枯れたクスノキの葉をサンプルに
説明される田中先生



クスベニヒラタカスミカメの写真

今月も各会より会報を送っていただきました。

安治川山の会ニュース（安治川山の会）、やまなかま（泉州労山）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぼんぼん山（高槻）、奈良県連ニュース滋賀県連ニュース、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、HCかざぐるま、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

編集・発行 入澤、大西秀、笠井、園、高橋、中井、中尾、服部、大西清
